

第 1 次久留米市立小学校統合基本計画

令和 2 年 6 月

久留米市教育委員会

目次

本編

第1次久留米市立小学校統合基本計画について	1
1 統合の対象校	2
2 統合の組み合わせ	2
3 統合の方式、学校の名称及び位置	3
4 統合の進め方	3
5 統合の実施時期	4
6 統合後の新たな学校づくり	4

資料編

1 統合の対象校における児童数・学級数の推移について	1
2 統合の組み合わせについて	3
3 統合の実施時期として考慮すべき事項について	9
4 城島地域5小学校の児童数・学級数の推計について	10
5 城島地域5小学校の校区図について	13

本編

第1次久留米市立小学校統合基本計画について

久留米市教育委員会は、小規模化する市立小学校の課題等に対応するため、その基本的な考え方や方向性等について、平成30年10月に「久留米市立小学校小規模化対応方針」を定めました。

この方針では、小規模校における最優先の対応が必要な学校は、既に複式学級が発生し、固定化している学校とし、その対応の基本方策は、学校の統合としています。

「第1次久留米市立小学校統合基本計画」は、この方針に基づき、小規模化する市立小学校の課題等への対応における第1次計画として、複式学級校を対象とした速やかな学校統合を進めていくための具体的かつ基本的な事項について定めたものです。

また、本計画は、市教育委員会における計画【案】を統合の対象となる学校の保護者や地域住民の方々等に提示し、協議・調整等を経た上で、決定しました。

令和2年6月 久留米市教育委員会

1 統合の対象校

「久留米市立小学校小規模化対応方針」に基づく最優先の対応として、速やかに、必要となる学校規模を確保するために、既に複式学級を編制している学校を統合の対象校とします。

【統合の対象校】

統合の対象校	複式学級編制の状況
浮島小学校	平成19年度より編制し固定化している
下田小学校	平成28年度より編制し固定化・拡大することが見込まれる

2 統合の組み合わせ

より良い教育条件・教育環境を速やかに整える観点から、統合により、児童の学習面や生活面の向上が図られるなど、教育的な効果が高い組み合わせとします。

【統合の組み合わせ】

統合の対象校	統合の組み合わせ
浮島小学校	両校とも 城島小学校と統合
下田小学校	

3 統合の方式、学校の名称及び位置

速やかに、より良い教育条件・教育環境を整え、必要となる学校規模を確保するために、大規模な学校施設の整備等を伴わない編入方式による統合とします。

したがって、統合後の学校の名称及び位置は、編入先の学校の現行どおりとします。

【統合の方式】

統合対象校	統合の方式
浮島小学校	両校とも 城島小学校に編入統合
下田小学校	

【統合後の学校の名称及び位置】

統合後の学校	
名称	位置
城島小学校	久留米市城島町城島320番地

4 統合の進め方

具体的に調整すべき事項や円滑な統合に向けて行っておくべき準備等の検討については、学校、保護者、地域住民の方々等で構成する統合準備協議会を設置して進めます。

【統合の進め方】

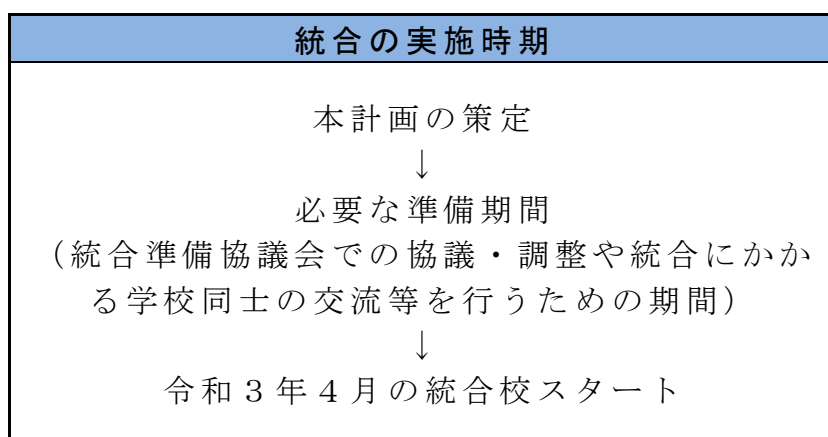
統合の進め方
円滑に進めるために統合準備協議会を設置 (学校・保護者・地域住民の方々等で構成)

5 統合の実施時期

統合の実施時期は、令和3年4月1日とします。

また、統合準備協議会による具体的な協議・調整や、統合にかかる学校同士の児童や教職員等が事前に交流を行うなどの時間を確保するため、本計画の策定後、必要な準備期間を設けた上で、統合を実施します。

【統合の実施時期】



6 統合後の新たな学校づくり

主に3つの分野を重点分野として、統合後の新たな学校づくりに取り組みます。

【統合後の新たな学校づくり】

重点分野	取組の内容
重点分野1	児童の安全・安心のための取組
重点分野2	学校の一体感の醸成を目指した魅力ある教育活動の展開
重点分野3	学校や地域の伝統を継承していくための取組

資料編

1 統合の対象校における児童数・学級数の推移について

統合の対象校である浮島小学校と下田小学校の昭和50年度から令和2年度までの児童数・学級数の推移は以下のとおりとなっています。

(1) 統合の対象校における児童数・学級数の推移

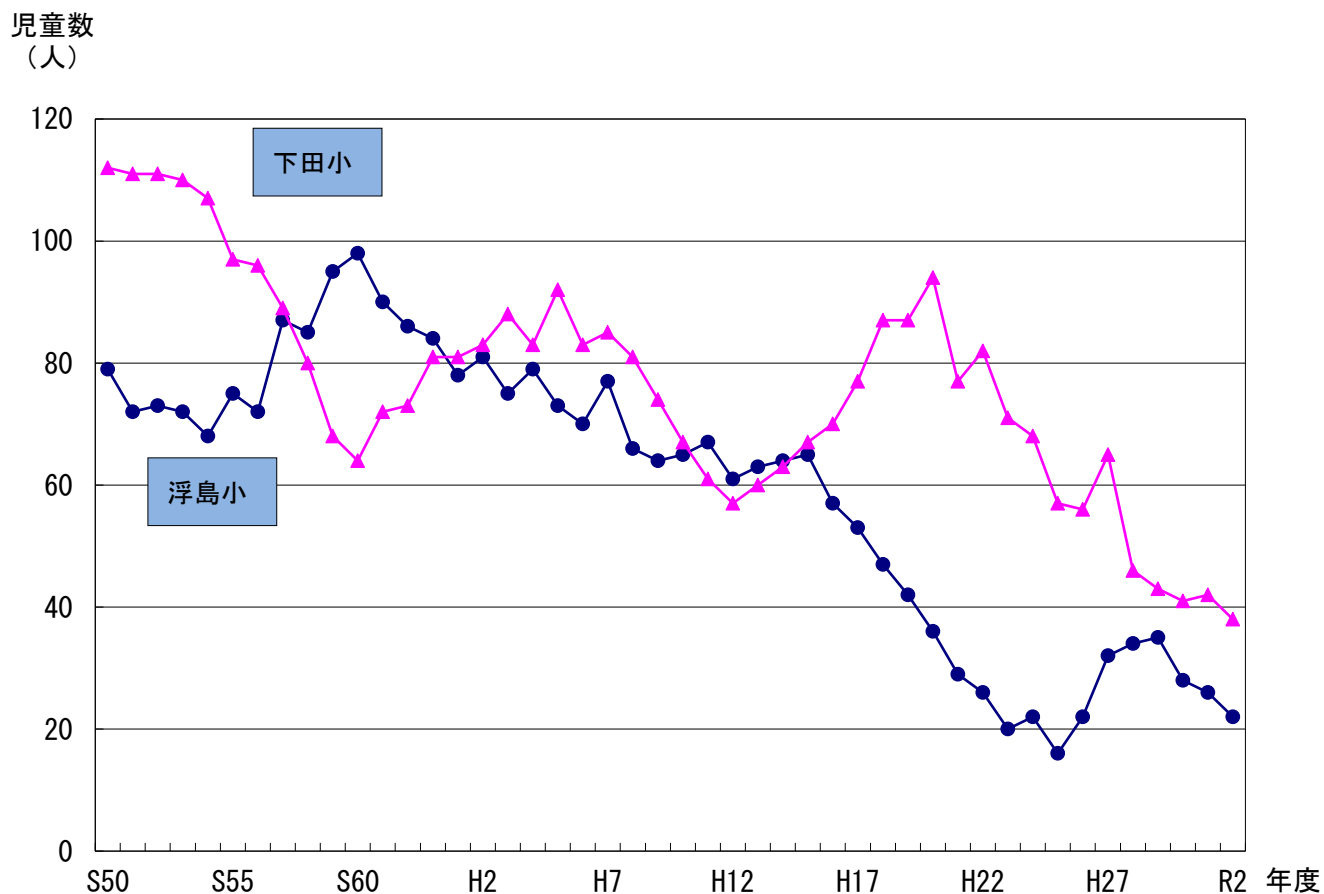
年度	浮島小		下田小		年度	浮島小		下田小	
	児童	学級	児童	学級		児童	学級	児童	学級
S50	79	6	112	6	H10	65	6	67	6
S51	72	6	111	6	H11	67	6	61	6
S52	73	6	111	6	H12	61	6	57	6
S53	72	6	110	6	H13	63	6	60	6
S54	68	6	107	6	H14	64	6	63	6
S55	75	6	97	6	H15	65	6	67	6
S56	72	6	96	6	H16	57	6	70	6
S57	87	6	89	6	H17	53	6	77	6
S58	85	6	80	6	H18	47	6	87	6
S59	95	6	68	6	H19	42	4	87	6
S60	98	6	64	6	H20	36	4	94	6
S61	90	6	72	6	H21	29	3	77	6
S62	86	6	73	6	H22	26	3	82	6
S63	84	6	81	6	H23	20	3	71	6
H1	78	6	81	6	H24	22	3	68	6
H2	81	6	83	6	H25	16	3	57	6
H3	75	6	88	6	H26	22(20)	3	56(44)	6
H4	79	6	83	6	H27	32(25)	4	65(49)	6
H5	73	6	92	6	H28	34(28)	4	46(33)	5
H6	70	6	83	6	H29	35(29)	4	43(28)	4
H7	77	6	85	6	H30	28(21)	3	41(27)	4
H8	66	6	81	6	R1	26(21)	3	42(30)	4
H9	64	6	74	6	R2	22(15)	3	38(33)	4

注)

- ・児童数；特別支援学級在籍児童を含む全児童数
- ・H26～R2における（）は小規模特認校児童を除いた児童数
- ・学級数；通常学級数のみで特別支援学級数は除きます

(2) 統合の対象校における児童数の推移グラフ

浮島小学校と下田小学校ともに、中・長期的には今後も児童数の減少傾向は続くものと推計されます。



凡例)

- ・ 浮島小学校 ; —●—
- ・ 下田小学校 ; —▲—

2 統合の組み合わせについて

(1) 各学校の児童数・学級数の現状

統合の対象校である浮島小学校と下田小学校及びその隣接する各小学校における児童数・学級数の現状は、以下のとおりです。

①浮島小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
学級数	複式学級		複式学級		複式学級		3
児童数	2	3	1	7	1	6	20
1学級当りの児童数	5		8		7		6.6

②青木小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	6
児童数	16	13	18	18	22	17	104
1学級当りの児童数	16	13	18	18	22	17	17.3

③下田小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
学級数	1	1	複式学級		複式学級		4
児童数	6	4	7	7	5	8	37
1学級当りの児童数	6	4	14		13		9.3

④城島小学校

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
学級数	1	2	1	2	1	2	9
児童数	32	37	37	43	35	43	227
1学級当りの児童数	32	18.5	37	21.5	35	21.5	25.2

注)

- ・令和2年5月1日現在の各学校の児童数・学級数(通常学級のみ)
- ・1学級当りの児童数の合計欄は平均値を表します

(2) 必要な学校規模を確保するための2つの統合案

統合の対象校である浮島小学校と下田小学校において、速やかに、必要な学校規模（1学年1学級以上（学校全体で6学級以上）の規模を確保するための統合を実施する場合、以下のような2案が考えられます。

案1

●浮島小を青木小に統合し、下田小を城島小に統合する案

○浮島小→青木小

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	6
児童数	21	18	16	19	25	23	122
1学級当りの児童数	21	18	16	19	25	23	20.3

○下田小→城島小

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
学級数	2	2	2	2	2	(2)	12
児童数	45	38	41	44	50	40	258
1学級当りの児童数	22.5	19	20.5	22	25	40	24.8

案2

●浮島小と下田小を城島小に統合する案

○浮島小・下田小→城島小

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数	50	40	44	45	57	41	277
1学級当りの児童数	25	20	22	22.5	28.5	20.5	23.1

注)

- ・令和2年5月1日現在の各学校の児童数・学級数（通常学級のみ）をもとに、令和3年4月1日の推計値を算出しています
- ・1学級当りの児童数の合計欄は平均値を表します
- ・**案1**下田小→城島小の6年生の学級数(2)は、学校統合に伴う県の加配教員1名の配置を想定しています

(3) 2つの統合案の評価・比較について

案1及び案2について、以下の項目について、評価・比較しました。

● 統合案の評価・比較の項目表

大項目	中項目	小項目（評価・比較の視点）
統合の効果	学習面の向上	教育活動の拡充
		児童の組織的活動の拡充
	生活面の向上	児童の社会的経験の場の拡充
		児童の人間関係固定化の解消
		児童と教員の心理的距離の確保
	学校運営の改善・向上	学校の組織的運営の充実
		学校経営の安定化の向上
		教職員の校務分掌の分散
		バランスが取れた教職員の配置
	学校規模の確保	望ましい学校規模の確保
		必要となる学校規模の確保
	通学の安全確保と支援の対応	通学路の安全確保
		通学支援の実施
	環境変化への対応	交流学习や合同行事等の実施
		スクールカウンセラーの拡充
		児童同士の新たな人間関係の早期構築
		児童の活躍できる機会の設定
	地域コミュニティへの配慮	地域学校協議会組織への影響
		コミュニティ・スクール活動への影響
		コミュニティ形成の歴史的経緯
		コミュニティ組織等への影響
	地域の拠点機能の継承	学校施設の拠点機能の継承
		学校施設跡地の活用
学校施設の状況	必要教室数等の確保	
	学校施設の耐用年数等の状況	
	学習教材の整備状況	
保護者負担の影響	保護者の学用品費の負担	
	保護者の学級費やPTA会費の負担	
	PTA組織への影響	
統合の実施環境	統合の実行性	地域の理解や協議・調整
		法手続きの状況
	統合の成立性	上位計画との関連
		他事業との関連

(4) 2つの統合案の評価・比較結果について

案1及び案2を評価・比較した結果は、以下のとおりです。

なお、評価・比較においては、小項目に示した視点で、中項目ごとに両案を相対的に評価・比較しました。

評価欄には、項目ごとに、優位性が認められる場合には、一方の案を「○」の評価とし、両案に差が認められない場合には、両案ともに「－」の評価としています。

● 統合案の評価・比較の結果表

大項目	中項目	案1 (浮島小→青木小) (下田小→城島小)		案2 (浮島小・下田小 →城島小)	
		評価	主な評価理由	評価	主な評価理由
統合の 効果	学習面の向上	－	浮島小→青木小では、全学年が1学級となるため、複数の学級がある場合と比較して、教育活動や児童の組織的活動の範囲が狭くなることが見込まれる。	○	(浮島小を含めて)全学年が2学級となるため、教育活動や児童の組織的活動の範囲がより拡充することが見込まれる。
	生活面の向上	－	浮島小→青木小では、全学年が1学級となるため、クラス替えができず、人間関係の固定化が解消されないことが見込まれる。	○	(浮島小を含めて)全学年が2学級となるため、クラス替えが可能となり、人間関係の固定化が解消されるが見込まれる。
	学校運営の 改善・向上	－	城島小では、学級数が+2増となり、教職員定数が拡大することで学校運営の改善・向上が見込まれる。	－	同左
	学校規模の 確保	－	浮島小→青木小では、必要となる学校規模の確保が見込まれる。ただし、望ましい学校規模を確保するためには、再度、統合の検討を要する。	○	3校全てにおいて、望ましい学校規模の確保が見込まれる。ただし、将来的に学年によっては、単学級となる可能性がある。
	通学の安全確保と支援の 対応	○	浮島小→青木小では、スクールバスの運行により、課題の解消が図られるが、案2と比較し、距離が短い。 浮島小→青木小の通学距離の目安；約2.8 km	－	浮島小→城島小では、案1と同様に、スクールバスの運行により、課題の解消が図られるが、距離が長い。 浮島小→城島小の通学距離の目安；約3.7 km

● 統合案の評価・比較の結果表（つづき）

大項目	中項目	案 1 (浮島小→青木小) (下田小→城島小)		案 2 (浮島小・下田小 →城島小)	
		評価	主な評価理由	評価	主な評価理由
統合の 効果	環境変化への 対応	－	修学旅行（6年生）、宿泊訓練（5年生）、社会見学（1年生から6年生）など、一部の学校行事等においては、以前より城島地域内の小学校同士が合同で実施している。しかし、浮島小と青木小、下田小と城島小といった特定の学校同士によるものではない。	－	同左
	地域コミュニティへの配慮	○	まちの成り立ちとして、青木村（浮島校区、青木校区）、城島町（下田校区、城島校区）であった歴史がある。（その後、江上村（江上校区）を合わせた1町2村が合併して現在の城島町となった。）また、消防団は浮島・青木校区で組織化されている。	－	浮島校区と城島校区は、地理的に隣接しておらず、また、コミュニティにおける関係性は見られない。
	地域の拠点 機能の継承	－	拠点機能の継承や跡地の活用は統合決定後に検討する予定である。	－	同左
	学校施設の 状況	－	教室等の収容可能数等に大きな支障は見られない。	－	同左
	保護者負担の 影響	－	城島地域5小学校は全て制服が導入されており、その取扱いは学校、保護者等と協議しながら検討する予定である。	－	同左
統合の 実施 環境	統合の実行性	－	今後、統合の組み合わせを含めて、保護者や地域住民等と協議・調整を行う予定である。	－	同左
	統合の成立性	－	他の事務事業や計画等と事前協議や調整等を要する事項は見られない。	－	同左

● 評価・比較結果の総括表

	案 1 (浮島小→青木小) (下田小→城島小)	案 2 (浮島小・下田小 →城島小)
優位性が認められる 項目数	2 項目	3 項目
優位性が認められる 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の安全確保と支援の対応 ・地域コミュニティへの配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面の向上 ・生活面の向上 ・学校規模の確保
評価・比較結果の概要	<p>浮島小においては、案 2 と比較して、統合後の通学距離が短いことから、登下校時の安全の確保や保護者の学校行事等への参加のし易さが見込まれる。ただし、スクールバス運行など通学支援を行う場合は、児童の登下校時の安全は、案 2 と同様となる。</p> <p>また、浮島小における地域コミュニティの観点では、まちの成り立ちの歴史的な経緯や一部の住民組織において、浮島校区と青木校区の関係性が認められる。</p>	<p>3 校による統合の結果、全ての学年においてクラス替えが可能となる「望ましい学校規模」となることから、児童の学習面や生活面において、3 校が同時にその効果が見込まれる。</p> <p>また、浮島小にとっては、案 1 では、「望ましい学校規模」は確保されず、再度、統合の検討を要する。</p>

(5) 2つの統合案の市教育委員会の考え方

<p>案 2 (浮島小と下田小を城島小に統合する案) とします。</p> <p>(判断の理由)</p> <p>案 1 と案 2 を比較した結果、案 2 の方が、より良い教育条件・教育環境を速やかに整える観点から、統合による教育的な効果がより高いと判断されるため。</p>
--

3 統合の実施時期として考慮すべき事項について

(1) 複式学級における学習方法

複式学級では、国語や算数などを除く、以下の教科等の学習内容は、低学年（1・2年生）、中学年（3・4年生）、高学年（5・6年生）の各2年間で、学習する方法を実施しています。

音楽科、図画工作科、体育科、道徳、生活科・総合的な学習の時間、外国語活動、学級活動

(2) 複式学級における年間指導計画

複式学級では、上の教科等において、2種類の年間指導計画を作成し、年度ごとに交互に実施しています。

① A年度の年間指導計画

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
複式学級		複式学級		複式学級	
1年生の学習内容		3年生の学習内容		5年生の学習内容	

② B年度の年間指導計画

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
複式学級		複式学級		複式学級	
2年生の学習内容		4年生の学習内容		6年生の学習内容	

(3) 各学校における状況

浮島小学校と下田小学校ともに、各年度の複式学級における年間指導計画の状況は、以下のとおりとなっています。

H30	R1	R2	R3	R4	R5
B年度	A年度	B年度	A年度	B年度	A年度

(4) 統合の実施時期として考慮すべき事項

A年度を統合の実施時期とする場合、前年度であるB年度における1年生、3年生、5年生は、学習内容と学年が一致しないために、統合の前年度から統合時の学習内容を合わせるために、準備期間が必要になります。

4 城島地域5小学校の児童数・学級数の推計について

①城島小学校（小規模校）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R2	1	2	1	2	1	2	9
	32	37	37	43	35	43	227(240)
R3	2	1	1	1	2	1	8
	40	32	37	37	43	35	224(236)
R4	2	2	1	1	1	2	9
	46	40	32	37	37	43	235(247)
R5	2	2	1	1	1	1	8
	39	46	40	32	37	37	231(240)
R6	2	2	2	1	1	1	9
	39	39	46	40	32	37	233(240)
R7	2	2	1	2	1	1	9
	38	39	39	46	40	32	234(238)
R8	1	2	1	1	2	1	8
	34	38	39	39	46	40	236(236)

②下田小学校（平成28年度より複式学級校）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R2	1	複式学級		複式学級		1	4
	6	4	7	7	5	8	37(38)
R3	1	複式学級		複式学級		1	4
	5	6	4	7	7	5	34(34)
R4	複式学級		複式学級		複式学級		3
	2	5	6	4	7	7	31(31)
R5	複式学級		複式学級		複式学級		3
	5	2	5	6	4	7	29(29)
R6	複式学級		複式学級		複式学級		3
	3	5	2	5	6	4	25(25)
R7	1	複式学級		複式学級		1	4
	7	3	5	2	5	6	28(28)
R8	1	複式学級		複式学級		1	4
	4	7	3	5	2	5	26(26)

③江上小学校（小規模校）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R2	1	1	1	1	1	1	6
	22	17	25	13	17	29	123(128)
R3	1	1	1	1	1	1	6
	16	22	17	25	13	17	110(115)
R4	1	1	1	1	1	1	6
	14	16	22	17	25	13	107(111)
R5	1	1	1	1	1	1	6
	15	14	16	22	17	25	109(113)
R6	1	1	1	1	1	1	6
	11	15	14	16	22	17	95(97)
R7	1	1	1	1	1	1	6
	16	11	15	14	16	22	94(94)
R8	1	1	1	1	1	1	6
	14	16	11	15	14	16	86(86)

④青木小学校（小規模校）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R2	1	1	1	1	1	1	6
	16	13	18	18	22	17	104(113)
R3	1	1	1	1	1	1	6
	16	16	13	18	18	22	103(110)
R4	1	1	1	1	1	1	6
	14	16	16	13	18	18	95(100)
R5	1	1	1	1	1	1	6
	15	14	16	16	13	18	92(97)
R6	1	1	1	1	1	1	6
	11	15	14	16	16	13	85(86)
R7	1	1	1	1	1	1	6
	16	11	15	14	16	16	88(88)
R8	1	1	1	1	1	1	6
	14	16	11	15	14	16	86(86)

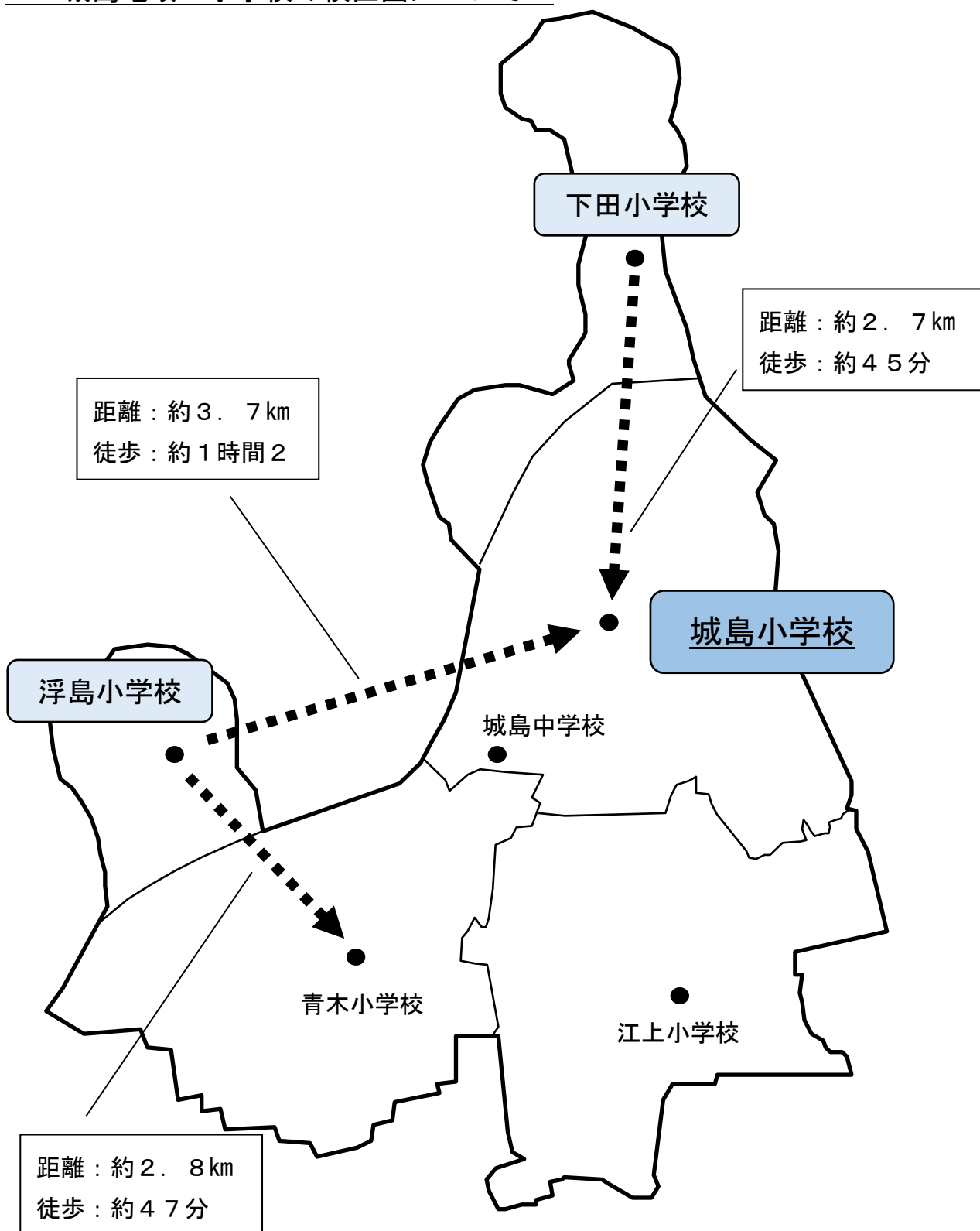
③浮島小学校（平成19年度より複式学級校）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R2	複式学級		複式学級		複式学級		3
	2	3	1	7	1	6	20(22)
R3	複式学級		複式学級		複式学級		3
	5	2	3	1	7	1	19(19)
R4	複式学級		複式学級		複式学級		3
	0	5	2	3	1	7	18(18)
R5	複式学級		複式学級		複式学級		3
	8	0	5	2	3	1	19(19)
R6	1	複式学級		複式学級		1	4
	4	8	0	5	2	3	22(22)
R7	複式学級		複式学級		複式学級		3
	3	4	8	0	5	2	22(22)
R8	複式学級		複式学級		複式学級		3
	3	3	4	8	0	5	23(23)

注)

- ・ 上段；学級数
- ・ 下段；児童数
- ・ 児童数の合計()は特別支援学級在籍児童数を含む場合です
- ・ R2.5.1 現在の推計値（統合を実施しなかった場合）です
- ・ 学級数は、通常学級のみを対象としています
- ・ 1、2年生は1学級35人編制、3～6年生は1学年40人編制です
- ・ 隣り合う2つの学年の児童数の合計が、第1学年を含む場合は8人以下、それ以外の学年では、16人以下で複式学級編制となります

5 城島地域5小学校の校区図について



注)

- ・距離は、各小学校から小学校までの実際の道路上で計測した距離を表しています
- ・時間は、児童の徒歩による時間（1分間＝60m）を表しています